

家族で楽しむ
読書の秋

リビングの本棚のある

静かだなと思ったら、家族がそれぞれスマートフォンに向かって無言……、なんて経験はありませんか。デジタル化が進む暮らしの中で、コミュニケーションレスが心配になります。そんな今、あえてアナログの本のよさを再確認してみませんか。

家族の会話が自然に生まれる「みんなの本棚」、ファミリー・ライブラリーを始めましょう。

家族みんなの ライブラリー

ファミリー・ライブラリーとは、本棚を個人のものにとどめず、家族みんなで共有するアイデアです。ほかの人の本が自然に目に入る本棚だから、誰がどんなことに興味を持っているのか、どんなものが好きなのかもすぐにわかり、共通の話題が生まれるきっかけになります。普段から本に触れやすい環境を作ること、お子さんの学習意欲の向上にもつながると期待されています。

理想的なのは どんな本棚？

コミュニケーションが目的だから、わざわざ個室の書斎を作らず、人の集まるリビングの一角などに本を集めることをおすすめします。本棚はもちろん取り出しやすいオープンタイプ。小さなお子さんのいる

家庭なら、ロータイプの本棚も選択肢に入れてください。

本棚は本だけでなく、お気に入りの小物や写真、自作のアートなどを飾る場所としてもぴったりです。

おしゃれなブックカフェを参考に、インテリアをセレクトするのもいいでしょう。座

り心地のいいソファ、サイドテーブルには素敵なデスクランプを。疲れた目を休めるためのグリーンがあれば理想的です。

お気に入りの本を囲んで、家族みんなで和やかなひと時をお過ごしください。いつでも側に本のある豊かな暮らしを！



家族みんなのお気に入りも一目でわかる。コミュニケーションが自然に生まれる「ファミリー・ライブラリー」を作ろう！



コミュニケーションが はかどる本のレイアウト

家族の本棚、どのように本を並べたらよいでしょうか。本棚といえばジャンルや著者で分類するのが一般的ですが、こはせつかくの「みんなの本棚」。あえて今までのやり方から離れてみましょう。コミュニケーションが目的の本棚は、整然としている必要ありません。

●色で分けてみる

本の内容にかかわらず、背表紙の色ごとに並べてグラデーションを作るのはいかが。家族みんなで持ち寄った本で、カラフルなアート作りを楽しむのも一興です。

●面出ししてみる

本屋さんのレイアウトを参考に、「今読んでいる本」「お気に入りの一冊」「家族におすすめしたい本」などを、面出ししてみるのはいかがでしょうか。表紙が見えるこのレイアウトなら、手に取りやすく、興味を持ちやすいから、会話の糸口になること間違いなしです。

写真集や画集の表紙には、それだけでアートになる素敵なものもたくさんあります。ぜひ自由な発想で、本棚を存分に楽しんでください。

